

事務事業名		35400	沖縄交流事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	指導班
実施体系		基本施策	17	交流の促進	根拠法令	旭市補助金等交付規則	沖縄交流事業補助金交付要領			
施策の展開		32	自治体間交流の促進	戦略事業	157	沖縄交流事業				
施策の展開				戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 10 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		友好交流市村締結・宣言をした沖縄県中城村との一層の親善を図り、心豊かなまちづくりとお互いの発展につながるよう交流を深める。市内小学校15校のうち、毎年3校の小学5年生が中城村を訪問するとともに、中城村からの訪問団を迎え入れ、交流を深める。この事業により、児童の豊かな人間性や社会性を養うとともに、リーダーとしての自覚と責任感等の資質を高め、旭市の次代を担う人材の育成に寄与する。	
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
平成10年、旧飯岡町の小学校2校と中城村の小学校3校との間で交流事業が始められた。平成17年の合併の際、旭市へと引き継がれ、現在は市内15校を3校ずつの組とし、輪番により交流を実施している。		輪番制になってから2順目を終えるにあたり、各校の児童数の変化等を勘案し、機会の均等を期し、参加校組み合わせの修正を行う。また、沖縄県中城村からの要望により、実施時期を3週ほど早めて行う。	参加児童保護者より、「旭市の代表という大きな役割の中緊張感・達成感を味わい、充実・満足できる貴重な体験となった。」「(沖縄への訪問は)3日間ではあるが、とても成長できた。」など、肯定的な意見が寄せられている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円
1.普通旅費	0	沖縄県中城村来旭者出迎え
2.特別旅費	131	沖縄交流事業随員職員旅費
3.沖縄交流事業補助金	2,075	沖縄交流事業補助金
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
事業費	1.普通旅費	千円	2	0	0	0	0
	2.特別旅費	千円	107	137	130	131	150
	3.沖縄交流事業補助金	千円	1,635	1,743	2,059	2,075	2,167
		千円					
		千円					
財源	事業費計 (A)	千円	1,744	1,880	2,189	2,206	2,317
	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	1,744	1,880	2,189	2,206	2,317

前年度増減理由	救急箱の新調、旅行会社の取扱い料金の変更等のため。
---------	---------------------------

従事職員数	常時 1 人	最大 人	× 日 =	延べ 0 人
-------	--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
30年度実績(30年度に行った主な活動)	・旭市児童の沖縄訪問 ・中城村児童の旭市訪問の迎え入れ	ア 旭市児童の沖縄訪問回数	回	1	1	1	1	1
		イ 中城村児童の旭市訪問回数	回	1	1	1	1	1

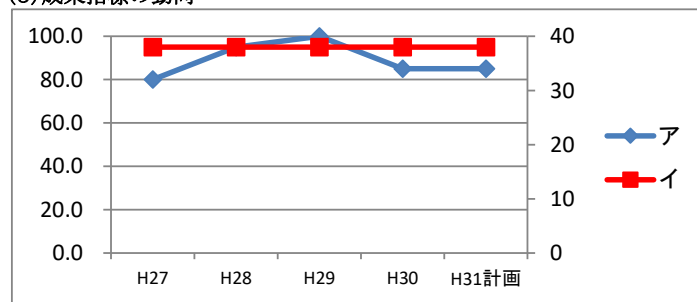
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
対象意図	・旭市児童 ・豊かな人間性・社会性の育成 ・リーダーとしての自覚と責任感等の資質の向上	ア 沖縄訪問後、中城村児童としっかり交流できたと答えた児童の割合	%	80.0	95.0	100.0	85.0	85.0
		イ 旭市及び中城村児童による沖縄及び旭市訪問の年間延べ人数	人	38	38	38	38	38
対象意図	・旭市児童ならびに中城村児童 ・旭市と中城村との交流促進							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	①		
普通				
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	(1)		
②				
③				
④⑤				
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ
【コメント】 (低下の場合、その理由)	参加人数が20名程度と少ないため、児童の自己評価が割合に大きく表れてしまうが、児童の反応は、概ね良好である。
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 内容 今後の方向性
	前年度同様に実施